

## 第1回塩竈市震災復興計画検討委員会の概要について

日 時 平成23年6月8日(水) 17:00~19:10

場 所 本庁3階北側委員会室

出席委員 首藤委員、新妻委員、小玉委員、姥浦委員、鵜飼委員、桑原委員、志賀委員、千葉委員  
阿部委員、土井(俊)委員、土井(萬)委員、日野委員、小野委員、和田委員

欠席委員 太田委員

塩竈市 市長、副市長、教育長、各部長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室長

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶

東京において、「全国市長会議」が開催され出席してまいりました。810名の市長がおりますが、多くの市長から「東北、頑張り。宮城、頑張り。」「復興に向かって努力して頂きたい。」等の暖かい励ましのお言葉を頂きました。

塩竈市は東日本大震災により沿岸部のみならず、内陸部も大変大きな被害が発生しております。こういった状況から1日も早く市民の皆様に、安全、安心な旧来どおりの暮らしを送れる地域社会をつくっていかねばならないと思っております。その指針となるものが「塩竈震災復興基本方針」であります。この方針について皆様からご指摘をいただきながら、市民の皆様が再び塩竈のまちに「夢・希望」を持てるようにしていきたいと思っております。委員の皆様には、何卒、塩竈のまちの復興に向け、さまざまな意見をいただければありがたいと思っております。

大変お忙しい中、ご出席いただいたことを心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4. 委員紹介
5. 委員長選出

委員長は互選により、首藤伸夫委員を選出、委員長が新妻委員を副委員長に指名。

6. 諮問
7. 議事

- (1) 塩竈市震災復興計画の策定について
- (2) 東日本大震災に係る塩竈市の被災状況について
- (3) 塩竈市震災復興計画基本方針(素案)について

### 【塩竈市震災復興計画の策定について】

#### 委員

地区懇談会については、7月に1回ということではなく、随時開くということによいか。

#### 事務局

浦戸地区や西部地区、北部地区、各町内会単位の地区について行いながら、必要であれば随時行いたいと考えています。

#### 委員長

地区懇談会は復興推進室が主催するのですか。

#### 事務局

復興推進室で行いたいと考えています。

## 委員長

地元代表の委員の方は、もう一回やってほしいと要望があれば推進室へ連絡していただきたいと思います。推進室が中心となって地元の意見を吸い上げ、実効性のあるものを作らなければなりません。

## 委員

地区懇談会は、被災された地域を重点的にやっていただきたい。

## 委員長

地区懇談会の日程が決まったら、各委員に情報提供してください。

## 委員

この委員会開催スケジュールでは、国県への予算要望など適切タイミングで対応できないこともあると思う。委員会に諮らずとも進めなくてはならないと思うが、どのように対応するのか。

## 事務局

今回お示ししたものは、全体のスケジュールです。必要があれば随時、委員長とも相談しながら対応いたします。

## 委員長

必要であれば、近くの委員には説明し、遠方の委員にはメール等を活用し、フレキシブルに対応していただきたい。

## 【東日本大震災に係る塩竈市の被災状況について】

## 委員

藤倉児童館は、今回の地震と津波により使用不能となっている。建て替えの話もあるようだが、藤倉地区は公園らしい公園がほとんどないので、子供たちの遊び場確保のため、建物に柵をするなど、当面の遊び場の確保をしていただきたい。

## 健康福祉部長

藤倉児童館については、早期に再開できるよう建て替え費用等を震災復旧経費として6月議会に補正予算を計上しているところです。応急的措置については、検討させていただきたいと思います。

## 委員

北浜のデイサービスセンターが大変な被害を受けているが、別途検討するのか。

## 健康福祉部長

北浜のデイサービスセンターは、社会福祉協議会が運営を行っている施設です。浸水地域でありますので、利用者の心情に配慮しながら、運営主体である社会福祉協議会と検討を進めたいと考えています。

## 委員

北浜のデイサービスセンターやヘルパー関係の施設は、民間施設ですか。

## 健康福祉部長

北浜のデイサービスセンターや清水沢の特別養護老人ホームなど、いくつかの民間施設があります。今後、民間施設の被災状況についても、まとまりしい資料を提供させていただきたいと思います。

## 委員長

市民生活にとって重要なことですから、民間施設の被災状況についても市として調査していただきたい。

## 委員

今日の会議のあり方として具体的な被災箇所でも討議しているが、そこまで入ってよろしいのか。

## 委員長

具体的な事例をあげてもらえれば、資料にない部分にも気づきますので、資料を補足する立場で、提案していただければと思います。

## 委員

資料中、水産加工業等共同利用施設の被災状況の中で、冷凍冷蔵庫、加工場とありますが、この冷凍冷

蔵庫の能力と何の加工場なのかを教えてください。

#### **産業環境部長**

市内に水産業協同組合法に基づく組合が何か所かあります。そこで持っている冷蔵庫等を調べた時に被害状況として出されたものをこの資料にあげています。ほとんどの冷凍冷蔵庫を持っている組合で被害を受け、被害額を積み上げると8億3千万円という額が出ています。加工場については、水産加工業等共同利用施設の中では、水産加工団地で所有している解放実験室です。

#### **委員**

寒風沢の棧橋について、説明にもあったとおり津波で流されました。地元の方が急遽、別な場所に棧橋を即製し、高さを調整しながら利用していますが、大潮になると水の下になってしまう状況です。速やかに復旧をお願いしたいと思います。

#### **委員**

浦戸では地盤沈下により大潮の満潮時には、床下まで入ってくる状況です。地盤沈下について調査をお願いしたいと思います。

#### **建設部長**

地盤沈下につきましては、震災直後より進行していると認識しております。海岸については、それぞれ所管している省庁に早急な復旧対応をお願いしているところです。

#### **委員長**

地盤沈下の状況については、地域の方にも分かりやすいよう工夫して書いて下さい。資料に落ちている部分について気付いた場合や委員の近くの方から話がありましたら、ぜひ推進室に報告してください。公共・民間施設の被害状況やその手当について随時載せていけば、より具体的にまとまり、後で手当をする際、忘れずに対応できると思います。

#### **事務局**

被害の状況等は、今後、詳細な調査を行います。最終的には被害の全貌が明らかになるような冊子としてまとめていきます。

### **【塩竈市震災復興計画基本方針（素案）について】**

#### **委員長**

基本方針が一番基本となり、全てを動かす事になりますから、本日決定まで持ち込むことは私としてはやめたいと思います。ある程度筋立てを行い、落ちている箇所、意味が分からない等の内容を本日議論し、「案」くらいのものでまとめて、次の委員会の前に目を通していただいた後に、次の委員会で第一の重要な議題として決めたいと思いますがどうでしょうか。

#### **委員長**

それでは最初に基本理念だけは、ほぼ確定するくらいに議論いただきたいと思います。

#### **委員**

この基本理念には、動きや勢いが感じられない。行政とは市民の下支えだと思う。市民が今まで発展や産業を通じてしてきたことをどう下支えしてきたか、していくかが文章に表れていない。「動き」を下支えするニュアンスを加えて欲しい。今回無事だった塩竈の水産加工業の役割、水産業・水産加工業に関して、「塩竈市が東北地区全体の力になり復興させる」くらいのことを掲げて欲しい。また、市民の心のケア、生活の問題まで考え、塩竈をさらに元気にするというニュアンスを含めて欲しい。

#### **委員**

この理念に関して、復興というよりは復旧という感じがする。塩竈を育てて行く為に、もう少し明確化していく必要がある。将来の塩竈のビジョンを全面に出して欲しい。

## 委員長

「住み慣れた町で安心した生活」であるのはもちろん、もっとその先に延びていくものが必要だと思います。メンタル面のケアについてですが、復旧ケアにあたるかと思います。心理学では72ヶ月の間にケアが必要だと言われています。

## 委員

市民の心の状態、心の問題を離れてはいけないと思います。一人一人がやる気にならなければいけないし、この経験を含めて次に進む、勢いをつけるというニュアンスです。

## 委員長

奥尻の津波に関しては10年経過すると、皆から話が出なくなる実態があるようです。我々は今、一生懸命この問題に関して考えていますが、この熱気が10年、20年続くような、将来も塩竈が勢いのあるまちになるよう強調されるような表現が必要だと思います。

## 委員

蒲鉾は本市の基幹産業です。現在3分の2ほど再開しました。塩竈は他の被災地に比べ建物も残っていて、被害が少なかったように見えますが、復興計画を考えた際、建物被害が大きい地域では、新たに道路や建物整備がしやすく、それにより10年、20年経った時に塩竈が埋もれてしまうのではないかと危機感を感じています。復興するためには、まち全体の「強み」を持ったまちづくり計画の表現を入れて欲しいと思います。

## 事務局

基本理念の「長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように」について、これまでのままとイメージを持たれるかもしれませんが、津波で市街地が無くなってしまった地域の計画と、塩竈のように建物がある程度残っている地域の計画づくりでは違うものになるかと思います。塩竈の場合は、道路の引きなおしから始めるのではないという意味で基本理念として掲げています。

## 委員

港町、北浜など大きな被害を受けた場所に、また同じように建物を建てられるのか。「長い間住みなれた土地で」という表現はそのように解釈してしまう。具体的に建物を建てて良いかどうかから議論が必要になる。

## 委員

宮城県沖地震がまた来るという話を聞きます。津波被害への不安が払拭されなければ、同じ地区にまた住んで良いのか考えが定まらないと思います。防潮堤の議論が優先だと思います。

## 委員長

地震に対する研究において25年の測定結果から、予測されるマグニチュードは8.6位でしたが、その常識を破り3つのブロックが重なった地震が起きました。まだあるかもしれない地震を想定しながら、復興計画をつくらざるを得ない状況です。また同じような津波が来たとき、一番の目標は、人命だけは守る、資産の喪失の軽減というところで計画をつくらないと身動きが出来ないと思います。

## 委員

自主防災としての育成をするなら、一番最初に避難する小・中・高の先生と生徒、あるいは親子での避難訓練や教育が必要だと思います。塩竈は他の地域に比べ防災教育が少ないと思います。

## 委員長

今回の津波で防災教育の実績が功を奏している例があちこちで報告されています。防災、避難の経験、訓練をいかに積んで行くかが、人命を守る中でいかに大切で基本かということが分かります。

## 委員

スピーカーでの避難の呼びかけは連続して行えないので、サイレンを連続して鳴らした方が良いのではないかと。

## **委員長**

サイレンを火事と勘違いして逃げずに津波の被害に遭った例があるので、うまく使い分け、聞き分ける訓練が必要となります。

## **委員**

市の防災マップに指標されている地図を活かして、まちづくりを考えるべきだと思う。塩竈を支えている練り製品を特化してまちの復興につなげていくべきと思います。また、地域に根ざした拠点病院も考えていいのではないかな。

## **委員**

産業の部分で見ると、塩竈らしさ、5年後10年後に他の地域に負けないような復興という部分が表現として無いように思えます。例えば「立て直し」という言葉は復旧というニュアンスが強い。再生復興という意味で5年後10年後にパワーがあるような意気込みをここに入れれば良いと思います。

## **委員**

地域産業に関しては、寿司・商店街等もありますので、加えて欲しいです。

## **委員長**

これまで出た意見が塩竈の実態だと思います。基本理念が全ての出発点となりますから、表現をもう少し事務局と私（委員長）でやり取りし、委員の方々にも確認を取りながら、今日の意見を反映して皆さんに了承していただけるものを作っていきたいと思います。

## **【その他】**

## **事務局**

次回の検討委員会は7月5日（火）の13時から行います。

## **8. 閉会**